

新年のごあいさつ



大東市長
東坂 浩一

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆さまには、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は市政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市は現在、大東市でしか体験できない付加価値の高い暮らしができる「大東スタイル」の実現や、皆さまと一緒にどこにも負けない、誰もが住み続けたいまち「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」の推進に向けて取り組んでいるところです。

昨年は、大阪桐蔭高等学校硬式野球部が史上初となる2度目の春夏連覇を達成するという大変喜ばしいニュースがあった一方で、大阪府北部を震源とする地震を観測し、また、西日本の広い範囲で豪雨災害・台風被害が起るなど、立て続けに天災に見舞われたことから、災害に強いまちづくりのさらなる推進を強く認識する年となりました。

本市では、さまざまな分野において全国に先駆けてリーディングモデルを

構築しており、その中心となる「公民連携」については、昨年3月に全国初となる「大東市公民連携に関する条例」を制定しました。現在、住宅地域の再生を図るために、点在する公的資産を活用する「北条まちづくりプロジェクト」を進めているところであり、今後、公共と民間の垣根を越え、さらに連携して事業を行うことで、本市が全国に誇るべき「公民連携事業」をより一層推進し、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

また、昨年8月から、子育て世代包括支援センター「ネウボランドだいたう」で妊娠・出産から子どもが18歳になるまで、子育てを応援する「大東市版ネウボラ」をスタートしました。ワンストップで相談できる体制の構築など、切れ目のない支援により安心の子育てを全力でサポートするとともに、併せて学力向上・教育支援の充実も行っております。

今後も引き続き、幸せを感じ笑顔になつていただけるまち大東市をめざして、一歩ずつ歩みを進め、市民の皆さまが誇れるような市政運営に努めてまいりますので、より一層のご支援・ご協力をお願いします。

最後となりましたが、皆さまにとって本年が素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



大東市議会議員
水落 康一郎

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、健やかに希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素より市政の推進ならびに市議会のさまざまな活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市議会では昨年一年間、「日本一開かれた議会」を合言葉に議員が一丸となり、日々、議会改革をはじめ議員の資質向上に取り組んでまいりました。

今年には平成から新たな元号に切り替わる変革の年であります。市議会といたしましても、新たな気持ちで、より一層の議会改革、活性化を推し進め、大東市議会においても変革の一年にしたいと考えております。

本市では人口減少・少子高齢化など、複雑多岐にわたる課題を抱えておりますが、子育て支援や教育施策の充実、公民連携事業による地域産業の活性化など、さまざまな課題に見合った施策を積極的に推し進め、市民の皆さま

が安心・安全に暮らしていただける魅力あるまちづくりを実現することが重要であると考えます。

このことから、市議会といたしましては市民の皆さまの声をお聞きしながら、今後も行政へのチェック機能を十分に発揮し、行政に対しても、さまざまな提案を投げかけ、山積している諸課題の解決に向け取り組んでまいりますのでございます。

新たな年を迎え、私たち市議会はその役割と責任の重さを改めて自覚し、決意も新たに議会の活性化と先進的な改革に取り組む、説明責任を果たすとともに市民の皆さまの負託に応えてまいります。

市民の皆さまには、市議会に対し、より一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年が幸多い年となりますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

